

AMWA-01
AMWS-01
AT コマンドマニュアル

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	1 of 34

目次

1. 改版履歴表	3
2. はじめに	4
3. 概要	4
4. Basic コマンド/イベント	4
4.1. 一覧	4
4.2. AT コマンド	5
4.3. ATZ コマンド	5
4.4. ATE0 コマンド	5
4.5. ATE1 コマンド	5
4.6. AT+VER コマンド	6
4.7. AT+UART コマンド	6
4.8. AT+UARTW コマンド	7
4.9. +UARTERR イベント	7
5. Wi-Fi コマンド	7
5.1. 一覧	7
5.2. AT+WMACADDR コマンド/イベント	8
5.3. AT+WRXSIG コマンド	8
5.4. AT+WSCAN コマンド	9
5.5. AT+WCONN コマンド	9
5.6. AT+WDISCONN コマンド	10
5.7. AT+WIPADDR コマンド	10
5.8. AT+WDHCP コマンド	11
5.9. AT+WAP コマンド	12
5.10. AT+WSCANINT コマンド	13
5.11. AT+WSAVE コマンド	13
5.12. AT+WPING コマンド	14
5.13. AT+WMODE コマンド	15
5.14. AT+WAPCFG コマンド	16
5.15. AT+WAPIP コマンド	16
5.16. AT+WAPSTA コマンド	17
5.17. +WEVENT イベント	18
6. Socket コマンド/イベント	19
6.1. 一覧	19
6.2. AT+SOPEN コマンド	19
6.3. AT+SCLOSE コマンド	20
6.4. AT+SLIST コマンド	21
6.5. AT+SSEND コマンド	21
6.6. AT+SRECV コマンド	24

6.7.	AT+SRECVMODE コマンド	24
6.8.	AT+SAUDP コマンド	25
6.9.	+SEVENT イベント	27
6.10.	+RXD イベント	29
7.	エラーコード	29
8.	AT コマンド操作ガイド	30
8.1.	STA モードで起動	30
8.2.	AP モードで起動	31
8.3.	UDP	32
8.4.	TCP サーバー	32
8.5.	TCP クライアント	33
8.6.	オート UDP で起動(STA モード)	33
8.7.	オート UDP で起動(AP モード)	34

1. 改版履歴表

Revision	Date	Description
1.0	2025/09/16	初版
1.1	2026/04/09	表記揺れの修正 AT+AUDP のレスポンスを AT+SAUDP に変更
1.2	2026/04/22	AP モードを追加
1.3	2026/05/01	AT+UARTW, AT+WAPSTA コマンドを追加
1.4	2026/05/09	AP モードにおける中継機能の非対応、および受信データ処理に関する説明を追記
1.5	2026/05/13	WSCANINT コマンドを追加、対応 FW・SDK を追記

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル

アニモテック株式会社

Product: AMWA-01, AMWS-01

Rev:1.5

3 of 34

2. はじめに

本マニュアルではAMWA-01又はAMWS-01(以下デバイス)を制御するATコマンドについて説明します。(AMWS-01についてはATコマンド用ファームウェア使用時)

※本書の内容は予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

本書の対応バージョン

対象製品: AMWA-01 / AMWS-01

対象ファームウェア: 1.1.0

対応SDK: 2.10.4

本デバイスはステーション(STA)モードとアクセスポイント(AP)モードを切り替えて使用することができますが、アクセスポイントモードには以下の制約があります。

- APモードでは、接続したステーション間のデータ転送は行いません。
接続したステーションはアクセスポイントとのみ通信できます。
- APモードで接続できるステーションは最大2台です。
- APモードは、接続したステーションをインターネットや既存LANへ中継するルータ/ブリッジ機能ではありません。
- APモードで受信したデータを外部機器や他ネットワークへ転送する場合は、本デバイスを制御するホストデバイス側で処理を実装してください。

3. 概要

デバイスにUARTでATコマンドを送信することにより、制御及び情報の取得を行うことができます。ATコマンドは以下の形式となります。

AT+[コマンド][CR]([LF]) ※LFは省略可能です。

[コマンド]はアスキーの文字列及び数値、[CR] [LF]は改行コードとなります。

ATコマンドは基本的な制御を行うBasicコマンド、Wi-Fiの接続・設定を行うWi-Fiコマンド、ソケット通信の制御を行うSocketコマンドに分類されます。

4. Basic コマンド/イベント

4.1. 一覧

コマンド/イベント	概要	備考
AT	OK レスポンスを返します	-
ATZ	ソフトウェアリセット	-
ATE0	エコーOFF	-
ATE1	エコーON	-
AT+VER	ファームウェアバージョンを表示します。	-

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル

アニモテック株式会社

Product: AMWA-01, AMWS-01

Rev:1.5

4 of 34

AT+UART	UART 通信ボーレートを変更します。	-
AT+UARTW	UART 通信ボーレートを設定保存します。	
+UARTERR	UART 通信エラーを通知します。	-

4.2. AT コマンド

OK レスポンスを返します。

RUN コマンド	実行コマンド	AT[CR]
	正常応答	OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

4.3. ATZ コマンド

ソフトウェアリセットを実行します。

レスポンスは返さずにファームウェア再起動後、起動メッセージが表示されます。

RUN コマンド	実行コマンド	ATZ[CR]
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

4.4. ATE0 コマンド

AT コマンドのエコー動作を OFF にします。(初期値 OFF)

※エコー動作 UART で入力したデータがそのまま返ってくる動作となります。

RUN コマンド	実行コマンド	ATE0[CR]
	正常応答	OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

4.5. ATE1 コマンド

AT コマンドのエコー動作を ON にします。(初期値 OFF)

RUN コマンド	実行コマンド	ATE1[CR]
	正常応答	OK[CR]

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	5 of 34

SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

4.6. AT+VER コマンド

ファームウェアのバージョンを表示します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	AT+VER?[CR]
	正常応答	+VER:<SDK>,<ATCMD>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	SDK	SDK バージョン
	ATCMD	ファームウェアバージョン
実行例	AT+VER? +VER:2.10.4,1.1.0 OK	

4.7. AT+UART コマンド

UART のボーレートを変更します。

ボーレートはコマンド発行後すぐに変更されます。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+UART=<baudrate>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+UART?[CR]
	正常応答	+UART:<baudrate>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	baudrate	UART 通信ボーレート(現在の値) (初期値 115200bps)
実行例	AT+UART? +UART:921600 OK AT+UART=115200 OK	

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	6 of 34

4.8. AT+UARTW コマンド

UART のボーレート設定を保存します。

ボーレートはすぐには変更されません、次回起動時から設定したボーレートが使用されます。

※本コマンドは即時に不揮発メモリへ保存されます。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+UARTW=<baudrate>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+UARTW?[CR]
	正常応答	+UARTW:<baudrate>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	baudrate	UART 通信ボーレート(保存している値) (初期値 115200bps)
実行例	AT+UARTW? +UARTW:921600 OK AT+UARTW=115200 OK	

4.9. +UARTERR イベント

UART 関連のエラーが起きた際に通知をします。

パリティエラー	+UARTERR:Parity error[CR]	
	発生条件	UART 受信でパリティエラーが発生した場合
ノイズエラー	+UARTERR:Noise error[CR]	
	発生条件	UART 受信でノイズエラーが発生した場合
フレームエラー	+UARTERR:Frame error[CR]	
	発生条件	UART 受信でフレームエラーが発生した場合
オーバーランエラー	+UARTERR:Overrun error[CR]	
	発生条件	UART 受信でオーバーランが発生した場合
オーバーフローエラー	+UARTERR:Buffer Overflow[CR]	
	発生条件	UART 受信で受信バッファのオーバーフローが発生した場合

5. Wi-Fi コマンド

5.1. 一覧

コマンド/イベント	概要	備考
AT+WMACADDR	デバイスの MAC アドレスを表示します。	

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	7 of 34

AT+WRXSIG	接続しているアクセスポイントの電波強度を表示します。	AP モード時使用不可
AT+WSCAN	周辺のアクセスポイントをスキャンして表示します。	AP モード時使用不可
AT+WCONN	アクセスポイントに接続します。	AP モード時使用不可
AT+WDISCONN	アクセスポイントから切断します。	AP モード時使用不可
AT+WIPADDR	STA モードでの IP アドレスを設定します。	
AT+WDHCP	STA モードでの DHCP 機能を設定します。	
AT+WAP	STA モードでの接続先アクセスポイント情報を設定します。	
AT+WSCANINT	STA モードでのアクセスポイントスキャン間隔を設定します。	
AT+WSAVE	設定を不揮発メモリへ保存します。	
AT+WPING	指定アドレスへ PING を送信します。	
AT+WMODE	次回起動時のモードを設定します。	
AT+WAPCFG	AP モードでのアクセスポイント情報を設定します。	
AT+WAPIP	AP モードでのアクセスポイントの IP を設定します。	
AT+WAPSTA	AP モードでの接続している STA 情報を表示します。	STA モード時使用不可
+WEVENT	Wi-Fi コマンド関連イベントを通知します。	

5.2. AT+WMACADDR コマンド/イベント

デバイスの MAC アドレスを表示します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	AT+WMACADDR?[CR]
	正常応答	+WMACADDR:<MAC address>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	MAC address	デバイスの MAC アドレス
実行例	AT+WMACADDR? +WMACADDR:00:60:ad:80:12:d8 OK	

5.3. AT+WRXSIG コマンド

接続しているアクセスポイントの電波強度指標(RSSI)を表示します。(AP モード時使用不可)

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	8 of 34

GET コマンド	実行コマンド	AT+WRXSIG?[CR]
	正常応答	+WRXSIG:<rsssi>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	rsssi	電波強度指標[dBm]
実行例	AT+WRXSIG? +WRXSIG:-49 OK	

5.4. AT+WSCAN コマンド

周辺のアクセスポイントを表示します。(AP モード時使用不可)

RUN コマンド	実行コマンド	AT+WSCAN[CR]
	正常応答	+WSCAN:<bssid>,<frequency>,<rsssi>,<security>,<ssid>[CR] (検出したアクセスポイントの数繰り返し) OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
パラメータ説明	bssid	アクセスポイントの 48bit 識別子
	frequency	アクセスポイントが使用しているチャンネルの中心周波数[MHz]
	rsssi	アクセスポイントの電波強度指標[dBm]
	security	アクセスポイントの暗号化方式
	ssid	アクセスポイントの識別名
実行例	AT+WSCAN +WSCAN:ab:cd:ef:01:23:45,925,-50,SAE,AMWx_AP +WSCAN:ab:cd:ef:01:23:45,925,-47,SAE,AMWx_AP OK	

5.5. AT+WCONN コマンド

アクセスポイントに接続します。(AP モード時使用不可)

RUN コマンド	実行コマンド	AT+WCONN[CR]
	正常応答	OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	AT+WCONN=<ssid bssid>,<security>[,<password>][CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WCONN?[CR]
	正常応答	+WCONN:<bssid>,<ssid>,<security>,<state>[CR] OK[CR]

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	9 of 34

パラメータ説明	ssid	アクセスポイントの識別名
	bssid	アクセスポイントの 48bit 識別子
	security	アクセスポイントの暗号化方式、“sae”、“owe”、“open”のいずれかを入力してください。 ※STA モードでは owe を使用できますが、AP モードでは未対応です。
	password	アクセスポイントに接続するためのパスワード 暗号化方式が sae の場合に必要です。
	state	以下の接続ステータスのいずれかが表示されます。 DISCONNECTED : 接続断 CONNECTING : 接続中 CONNECTED : 接続済み
実行例	AT+WCONN +WEVENT:CONNECT_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae (設定されているアクセスポイント情報を使用して接続します。WAP set コマンドなど参照) OK AT+WCONN=AMWx_AP,sae,12345678 +WEVENT:CONNECT_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae OK AT+WCONN? +WCONN:ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae,CONNECTED OK	

5.6. AT+WDISCONN コマンド

アクセスポイントから切断します。(AP モード時使用不可)

RUN コマンド	実行コマンド	AT+WDISCONN[CR]
	正常応答	OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
実行例	AT+WDISCONN +WEVENT:DISCONNECT,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae OK	

5.7. AT+WIPADDR コマンド

STA モードのときに使用する IPv4 アドレスを設定します。

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	10 of 34

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WIPADDR=<address>,<netmask>,<gateway>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WIPADDR?[CR]
	正常応答	+WIPADDR:<address>,<netmask>,<gateway>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	address	デバイスの IPv4 アドレス (初期値 192.168.11.11)
	netmask	デバイスのネットマスク (初期値 255.255.255.0)
	gateway	デバイスのデフォルトゲートウェイ (初期値 192.168.11.1)
実行例	AT+WIPADDR=192.168.1.22,255.255.255.0,192.168.1.1 OK AT+WIPADDR? +WIPADDR:192.168.1.22,255.255.255.0,192.168.1.1 OK	

5.8. AT+WDHCP コマンド

STA モードのとき、DHCP 機能を使用するか設定します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WDHCP=<flag>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WDHCP?[CR]
	正常応答	+WDHCP:<flag>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	flag	DHCP 状態 0 : DHCP 無効 1 : DHCP 有効 (初期値 0)
実行例	AT+WDHCP? +WDHCP:0 OK ・アクセスポイント未接続時に実行した場合 AT+WDHCP=1 OK	

	<p>・アクセスポイント接続時に実行した場合</p> <pre>AT+WDHCP=1 +WEVENT:DISCONNECT,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae OK +WEVENT:CONNECT_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae +WEVENT:LINK_UP,192.168.1.20,255.255.255.0,192.168.1.1 AT+WDHCP? +WDHCP:1 OK</pre>
--	--

5.9. AT+WAP コマンド

STA モードのとき接続先にするアクセスポイントを設定します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WAP=<ssid bssid>,<security>[,<password>][CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WAP?[CR]
	正常応答	+WAP:<bssid>,<ssid>,<security>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	ssid	アクセスポイントの識別名
	bssid	アクセスポイントの 48bit 識別子
	security	アクセスポイントの暗号化方式、“sae”、“owe”、“open”のいずれかを入力してください。 ※STA モードでは owe を使用できますが、AP モードでは未対応です。
	password	アクセスポイントに接続するためのパスワード 暗号化方式が sae の場合に必要です。
	※注意：上記のパラメータは「現在接続しているアクセスポイント」の情報ではなく、STA が接続先として保持している設定値です。	
実行例	<pre>AT+WAP=AP_NAME,sae,12345678 OK AT+WAP? +WAP:00:00:00:00:00:00,AP_NAME,sae OK AT+WAP=AB:CD:EF:01:23:45,sae OK AT+WAP?</pre>	

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル		アニモテック株式会社
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	12 of 34

	+WAP:ab:cd:ef:01:23:45,,sae OK
--	-----------------------------------

5.10. AT+WSCANINT コマンド

STA モード時、アクセスポイントへの再接続時に行うスキャン間隔設定値を変更します。設定値は WSAVE 実行時に不揮発保存され、次回再起動後から有効になります。

※再接続時とは、STA 状態においてアクセスポイントに接続後、STA 側の AT コマンド操作以外の理由でアクセスポイントと切断されたとき、アクセスポイントへの再接続を行う状態のことを指します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WSCANINT=<interval>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WSCANINT?[CR]
	正常応答	+WSCANINT:<interval>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	interval	STA モード時、アクセスポイントに再接続するためのスキャンをする間隔 [秒] 範囲 : 1 ~ 65535 初期値 : 16
		※注意 : 実際のスキャン間隔は複数端末の再スキャン集中を避けるため、 0.5×interval ~ 1.5×interval の範囲でランダムに変動します。
実行例	AT+WSCANINT? +WSCANINT:2 OK AT+WSCANINT=16 OK	

5.11. AT+WSAVE コマンド

各設定を内部フラッシュメモリに保存します。

保存したパラメータは次回起動に自動的に設定されます。

パラメータは AT+WAP、AT+WIPADDR、AT+WDHCP 等のコマンドであらかじめ設定を行う必要があります。

RUN コマンド	実行コマンド	AT+WSAVE[CR]
	正常応答	OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	-

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	13 of 34

	正常応答	-
実行例	AT+WSAVE OK	
保存パラメータ	sta.dhcp_enabled	DHCP 状態 0 : DHCP 無効 1 : DHCP 有効
	sta.gateway	デバイスのデフォルトゲートウェイ(STA モード用)
	sta.ip_addr	デバイスの IPv4 アドレス(STA モード用)
	sta.netmask	デバイスのネットマスク(STA モード用)
	sta.ssid	アクセスポイントの識別名(STA モード用)
	sta.bssid	アクセスポイントの 48bit 識別子(STA モード用)
	sta.security	アクセスポイントの暗号化方式。“sae”、“owe”、“open”のいずれか。 (STA モード用)
	sta.password	アクセスポイントに接続するためのパスワード(STA モード用)
	sta.scan_interval	アクセスポイントに再接続するためのスキャンをする間隔 [秒] (STA モード用)
	ap.ssid	アクセスポイントの識別名(AP モード用)
	ap.password	アクセスポイントに接続するためのパスワード(AP モード用)
	ap.security	アクセスポイントの暗号化方式。“sae”、“open”のどちらか。 (AP モード用)
	ap.ip_addr	デバイスの IPv4 アドレス(AP モード用)
	ap.netmask	デバイスのネットマスク(AP モード用)
	ap.gateway	デバイスのデフォルトゲートウェイ(AP モード用)
	ap.slg_chan_num	アクセスポイントが使用する無線チャンネル(AP モード用)
wlan.mode	次回起動時の通信モード、“AP”、“STA”のどちらか。	

5.12. AT+WPING コマンド

デバイスから ping を 10 回送信し、結果を表示します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WPING=<address>[CR]
	正常応答	+WPING:<size>,<address>,<count>,<min>,<ave>,<max>[CR] (10 回繰り返し) OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	14 of 34

パラメータ説明	size	パケットサイズ
	address	ping 送信先 IPv4 アドレス
	count	ping 回数
	min	応答時間最小値[msec]
	ave	応答時間平均値[msec]
	max	応答時間最大値[msec]
実行例	<pre> AT+WPING=192.168.1.1 +WPING:64,192.168.1.1,1,26,26,26 +WPING:64,192.168.1.1,2,26,29,32 +WPING:64,192.168.1.1,3,26,28,32 +WPING:64,192.168.1.1,4,26,29,32 +WPING:64,192.168.1.1,5,26,30,32 +WPING:64,192.168.1.1,6,26,32,47 +WPING:64,192.168.1.1,7,16,30,47 +WPING:64,192.168.1.1,8,16,30,47 +WPING:64,192.168.1.1,9,2,27,47 +WPING:64,192.168.1.1,10,2,25,47 OK </pre>	

5.13. AT+WMODE コマンド

無線モード(STA=ステーションモード/AP=アクセスポイントモード)を設定します。

本コマンドは現在の動作モードを即時に切り替えるものではなく、次回起動時に使用するモードを変更します。

設定内容を有効にするには、AT+WSAVE 実行後に再起動してください。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WMODE=<mode>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WMODE?[CR]
	正常応答	+WMODE:<mode>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	mode	次回起動時の動作モード (初期値 STA)
実行例	<pre> AT+WMODE=AP OK AT+WMODE? +WMODE:AP OK </pre>	

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	15 of 34

5.14. AT+WAPCFG コマンド

AP モードで起動する際に使用するアクセスポイント設定(SSID、セキュリティ、パスワード、チャンネル)を設定します。

本コマンドで設定した内容は AP 起動時に使用されます。

設定内容を保存するには AT+WSAVE を実行してください。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WAPCFG=<ssid>,<security>[,<password>],<channel>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WAPCFG?[CR]
	正常応答	+WAPCFG:<ssid>,<security>[,<password>],<channel>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	ssid	アクセスポイントの識別名 (初期値 AMWx_AP)
	security	アクセスポイントの暗号化方式、“sae”、“open”のどちらかを入力してください。(初期値 sae) ※AP モードでは owe は使用できません。接続するステーション側も open または sae を使用してください。
	password	アクセスポイントに接続するためのパスワード 暗号化方式が sae の場合に必要です。(初期値 12345678)
	channel	アクセスポイントが使用する無線チャンネル (初期値 13) ※security が open の場合は<password>を省略し、第 3 引数に <channel>を指定してください。
実行例	AT+WAPCFG=AMWx_AP,sae,12345678,13 OK AT+WAPCFG? +WAPCFG:AMWx_AP,sae,12345678,13 OK AT+WAPCFG=AMWx_AP,open,13 OK AT+WAPCFG? +WAPCFG:AMWx_AP,open,,13 OK	

5.15. AT+WAPIP コマンド

AP モードで起動する際に使用する IP アドレス設定(IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ)を設定します。

本コマンドで設定した内容は AP 起動時に使用されます。

設定内容を保存するには AT+WSAVE を実行してください。

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	16 of 34

※AP モードに DHCP 機能はありません。接続するステーション側にも固定 IP を設定してください。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+WAPIP=<address>,<netmask>,<gateway>[CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+WAPIP?[CR]
	正常応答	+WAPIP:<address>,<netmask>,<gateway>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	address	アクセスポイントの IPv4 アドレス (初期値 192.168.11.1)
	netmask	アクセスポイントのネットマスク (初期値 255.255.255.0)
	gateway	アクセスポイントのデフォルトゲートウェイ (初期値 192.168.11.1)
実行例	AT+WAPIP=192.168.1.22,255.255.255.0,192.168.1.1 OK AT+WAPIP? +WAPIP:192.168.1.22,255.255.255.0,192.168.1.1 OK	

5.16. AT+WAPSTA コマンド

AP モードのとき、接続しているステーションを表示します。

※最大 2 台まで表示されます。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	AT+WAPSTA?[CR]
	正常応答	+WAPSTA:<mac>[CR] (接続しているステーションの数繰り返す) OK[CR]
パラメータ説明	mac	接続しているステーションの mac アドレス (接続しているステーションがない場合: NONE)
実行例	//STA 接続あり AT+WAPSTA? +WAPSTA:ab:cd:ef:01:23:45 +WAPSTA:01:23:45:ab:cd:ef OK //STA 接続なし	

	AT+WAPSTA? +WAPSTA:NONE OK
--	----------------------------------

5.17. +WEVENT イベント

Wi-Fi コマンド関連イベントを通知します。

アクセスポイント接続	+WEVENT:CONNECT_SUCCESS,<bssid>,<ssid>,<security>[CR]	
	発生条件	アクセスポイントへの接続が完了したときに発生します
アクセスポイント切断	+WEVENT:DISCONNECT,<bssid>,<ssid>,<security>[CR]	
	発生条件	アクセスポイントとの接続が切断されたときに発生します
リンクアップ	+WEVENT:LINK_UP,<address>,<netmask>,<gateway>[CR]	
	発生条件	ネットワークへの割り当てが完了したときに発生します
アクセスポイント起動	+WEVENT:APSTART_SUCCESS,<bssid>,<ssid>,<security>[CR]	
	発生条件	AP モードで起動し、アクセスポイント起動に成功したら発生します。
ステーション接続	+WEVENT:STA_CONNECTED,<mac>[CR]	
	発生条件	ステーションが接続してきたときに発生します。
ステーション切断	+WEVENT:STA_DISCONNECTED,<mac>[CR]	
	発生条件	ステーションが切断したときに発生します。
パラメータ説明	bssid	アクセスポイントの 48bit 識別子
	ssid	アクセスポイントの識別名
	security	アクセスポイントの暗号化方式
	address	デバイスの IPv4 アドレス
	netmask	デバイスのネットマスク
	gateway	デバイスのデフォルトゲートウェイ
	mac	ステーションの mac アドレス
実行例	**STA モード** AT+WCONN=AMWx_AP,sae,12345678 +WEVENT:CONNECT_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae +WEVENT:LINK_UP,192.168.1.115,255.255.255.0,192.168.1.1 OK AT+WDISCONN +WEVENT:DISCONNECT,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae OK **AP モード** +WEVENT:APSTART_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae	

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	18 of 34

```
+WEVENT:LINK_UP,192.168.1.123,255.255.255.0,192.168.1.1
+WEVENT:STA_CONNECTED,01:23:45:ab:cd:ef
+WEVENT:STA_DISCONNECTED,01:23:45:ab:cd:ef
```

6. Socket コマンド/イベント

6.1. 一覧

コマンド/イベント	概要	備考
AT+SOPEN	ソケット通信を開始します。	STA 接続後、または AP 起動後に使用
AT+SCLOSE	ソケット通信を終了します。	
AT+SLIST	ソケットのリストを表示します。	
AT+SSEND	データを送信します。	
AT+SRECV	データを受信します。	パッシブモード時のみ使用可能
AT+SRECVMODE	データの受信モードを切り替えます。	
+SEVENT	Socket コマンド関連イベントを通知します。	
+RXD	受信したデータを通知します。	

6.2. AT+SOPEN コマンド

ソケット通信を開始します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	<ul style="list-style-type: none"> UDP AT+SOPEN=udp,<local_port>[,<reuse_addr>][CR] TCP サーバ AT+SOPEN=tcp,<local_port>[,<reuse_addr>][CR] TCP クライアント AT+SOPEN=tcp,<server_address>,<server_port>[,<reuse_addr>][CR]
	正常応答	+SOPEN:<socket_ID>[CR] OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
パラメータ説明	local_port	通信に使用するポート番号 (UDP) クライアントを待つポート番号 (TCP サーバ)
	server_address	接続先 TCP サーバの IPv4 アドレス
	server_port	接続先 TCP サーバのポート番号
	reuse_addr	SO_REUSEADDR 設定 0:無効 1:有効 (省略の場合 0)
	socket_ID	割り当てられたソケット ID

実行例	<ul style="list-style-type: none"> ・ UDP <pre>AT+SOPEN=udp,4100 +SOPEN:0 OK</pre> <ul style="list-style-type: none"> ・ TCP サーバ <pre>AT+SOPEN=tcp,4098,1 +SOPEN:1 OK</pre> <ul style="list-style-type: none"> ・ TCP クライアント <pre>AT+SOPEN=tcp,192.168.1.13,4099 +SOPEN:2 OK</pre>
-----	--

6.3. AT+SCLOSE コマンド

ソケット通信を終了します。

RUN コマンド	実行コマンド	AT+SCLOSE[CR]
	正常応答	+SCLOSE:<socket_ID>[CR] (閉じたソケットの数繰り返し) OK[CR]
SET コマンド	実行コマンド	AT+SCLOSE=<socket_ID>[CR]
	正常応答	+SCLOSE:<socket_ID>[CR] OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
実行例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のソケット ID を Close <pre>AT+SCLOSE=0 +SCLOSE:0 +SEVENT:CLOSE,0,Connection closed by SCLOSE command OK</pre> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのソケットを Close <pre>AT+SCLOSE +SCLOSE:1 +SEVENT:CLOSE,1,Connection closed by SCLOSE command +SCLOSE:2 +SEVENT:CLOSE,2,Connection closed by SCLOSE command OK</pre>	

6.4. AT+SLIST コマンド

ソケットのリストを表示します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
GET コマンド	実行コマンド	AT+SLIST?[CR]
	正常応答	+SLIST:<socket_ID>,<protocol>,<remote_address>,<remote_port>,<local_port>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
	protocol	通信プロトコル
	remote_address	通信先 IPv4 アドレス
	remote_port	通信先ポート番号
	local_port	ソケットが使用しているローカルポート番号
実行例	AT+SLIST? +SLIST:0,UDP,192.168.1.123,0,4100 +SLIST:1,TCP,192.168.1.124,0,4098 +SLIST:2,TCP,192.168.1.125,4099,50948 OK	

6.5. AT+SSEND コマンド

データを送信します。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+SSEND=<socket_ID>[,<length>[,<done_event>]][CR] AT+SSEND=<socket_ID>,<remote_address>,<remote_port>[,<length>[,<done_event>]][CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
	length	送信データ Byte 数 (省略の場合 0)
	done_event	送信完了イベント設定 0:イベント無効 1:イベント有効 (省略の場合 0)
	remote_address	通信先 IPv4 アドレス (UDP)

	remote_port	通信先ポート番号 (UDP)
送信モード	<p>AT+SSEND コマンドは、送信モードが 3 種類あります。モードは length 値で決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同期送信モード (length = 1 ~ 4096) パススルー送信モード (length = 0 又は length を省略した場合) バッファパススルー送信モード (length = -1 ~ -4096) <p>■同期送信モード</p> <p>SET コマンド後に、length で指定したバイト数を受け付け、送信します。</p> <p>■パススルー送信モード</p> <p>SET コマンド後に、パススルー送信状態になり、入力されたデータをそのまま送信します。パススルー送信状態から、AT コマンド受付状態に戻るには、SEND_IDLE イベント発生後に、</p> <p>AT*[CR]</p> <p>を入力してください。</p> <p>SEND_IDLE イベントはデータ送信が 5 秒以上行われなかった場合に発生します。</p> <p>■バッファパススルー送信モード</p> <p>基本的な動作はパススルー送信モードと同じですが、length で指定したバイト数ごとの送信を行います。未送信のデータはバッファに一時格納されます。</p> <p>指定したバイト数に達しないままパススルーモードを抜けた場合、未送信のデータは送信されずにクリアされます。</p>	
実行例	<ul style="list-style-type: none"> UDP 送信 同期送信モード done イベント無し <pre>AT+SSEND=0,192.168.1.13,4105,5,0 // 5byte 送信 OK</pre> <ul style="list-style-type: none"> UDP 送信 同期送信モード done イベント有り <pre>AT+SSEND=0,192.168.1.13,4105,5,1 // 5byte 送信 OK +SEVENT:SEND_DONE,0,5</pre> <ul style="list-style-type: none"> UDP 送信 パススルー送信モード done イベント有り <pre>AT+SSEND=0,192.168.1.13,4105,0,1 OK // 1byte 送信 +SEVENT:SEND_DONE,0,1 // 1byte 送信 +SEVENT:SEND_DONE,0,1 // 1byte 送信</pre>	
Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル		アニモテック株式会社
Product: AMWA-01, AMWS-01		Rev:1.5 22 of 34

```

+SEVENT:SEND_DONE,0,1
// 1byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,0,1
// 1byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,0,1
+SEVENT:SEND_IDLE,0,5,0
// AT*[CR] 送信
+SEVENT:SEND_EXIT,0,5

・UDP 送信 バッファパススルー送信モード done イベント有り
AT+SSEND=0,192.168.1.13,4105,-5,1
OK
// 5byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,0,5
// 5byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,0,5
+SEVENT:SEND_IDLE,0,10,0
// AT*[CR] 送信
+SEVENT:SEND_EXIT,0,10

・TCP サーバー バッファパススルー送信モード done イベント有り
AT+SSEND=1,-5,1
OK
// 5byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,1,5
// 5byte 送信
+SEVENT:SEND_DONE,1,5
+SEVENT:SEND_IDLE,1,10,0
// AT*[CR] 送信
+SEVENT:SEND_EXIT,1,10

・TCP クライアント バッファパススルー送信モード done イベントなし
AT+SSEND=0,-5
OK
// 5byte 送信
// 5byte 送信
+SEVENT:SEND_IDLE,0,10,0
// AT*[CR] 送信
+SEVENT:SEND_EXIT,0,10

```

6.6. AT+SRECV コマンド

データを受信します。

本コマンドはパッシブモード(AT+SRECVMODE=1)のときのみ使用可能です。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	AT+SRECV=<socket_ID>[,<length>][CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+SRECV?[CR]
	正常応答	+SRECV:<socket_ID>,<buffered_length>[CR] (受信したソケットの数繰り返し) OK[CR]
パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
	length	表示するデータ Byte 数 0 または省略の場合はバッファしているすべてのデータを表示します
	buffered_length	バッファされた受信 Byte 数
実行例	<pre>// 6byte 受信 +SEVENT:RECV_READY,0,6 // 6byte 受信 +SEVENT:RECV_READY,0,12 AT+SRECV? +SRECV:0,12 OK AT+SRECV=0,4 +RXD:0,12,192.168.1.123,0 Hell OK AT+SRECV=0,0 +RXD:0,8,192.168.1.123,0 o,world! OK</pre>	

6.7. AT+SRECVMODE コマンド

データの受信モードを切り替えます。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-

SET コマンド	実行コマンド	AT+SRECVMODE=<mode>[,<event>][CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+SRECVMODE? [CR]
	正常応答	+SRECVMODE:<mode>,<event>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	mode	受信モード切り替え 0:アクティブ 1:パッシブ (初期値 0)
	event	受信完了イベント設定 0:イベント無効 1:イベント有効 (省略の場合 0, 初期値 0)
実行例	<pre>// 12byte 受信 +RXD:0,12,192.168.1.123,0 Hello.world! AT+SRECVMODE=1,1 OK // 12byte 受信 +SEVENT:RECV_READY,0,12 AT+SRECV=0,0 +RXD:0,12,192.168.1.123,0 Hello.world! OK</pre>	

6.8. AT+SAUDP コマンド

自動 UDP 通信モード(以下、AutoUDP)の有効、無効を切り替えます。

RUN コマンド	実行コマンド	-
	正常応答	-
SET コマンド	実行コマンド	<ul style="list-style-type: none"> • AutoUDP 有効 AT+SAUDP=1,<local_port>,<remote_address>,<remote_port>[CR] <ul style="list-style-type: none"> • AutoUDP 無効 AT+SAUDP=0 [CR]
	正常応答	OK[CR]
GET コマンド	実行コマンド	AT+SAUDP?[CR]
	正常応答	+SAUDP:<enable>,<local_port>,<remote_address>,<remote_port>[CR] OK[CR]
パラメータ説明	enable	AutoUDP 状態 0 : AutoUDP 無効 1 : AutoUDP 有効

		(初期値 0)
	local_port	通信に使用するポート番号
	remote_address	通信先 IPv4 アドレス
	remote_port	通信先ポート番号
実行例	AT+SAUDP=1,4098,192.168.1.13,4099 OK AT+SAUDP? +SAUDP:1,4098,192.168.1.13,4099 OK AT+SAUDP=0 OK	
AutoUDP 機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ AutoUDP を有効にすることで、次回起動時から自動で UDP パススルー通信を開始します。 ・ AutoUDP 中は通常のパススルー通信と異なり、SEND_IDLE イベントが発生しません。 ・ 起動後 5 秒間以内に、"AT*[CR]"を入力することで、AutoUDP を開始せず、通常モードになります。 ・ "AT*[CR]"以外を入力した場合、すぐに AutoUDP になります。 ・ 一度 AutoUDP が開始したら、再起動するまで AutoUDP を維持します。AutoUDP 開始後は途中で抜けることはできません。 ・ AutoUDP を無効に設定した後、再起動すると通常モードで起動します。 ・ アクセスポイントに接続できないなどエラーが起きた場合は、接続できるまでループで試みます。 ・ アクセスポイント情報はあらかじめ AT+WSAVE で保存する必要があります。 	
AutoUDP 動作フロー	起動後、AutoUDP[CR]を UART に出力 ↓ 5 秒待機（本期間中に"AT*[CR]"が入力された場合通常モード） 又は、 "AT*[CR]"以外が入力された。 ↓ AutoUDP が開始。start[CR]を UART に出力 ↓ AT+WSAVE で保存した情報に基づき、アクセスポイントに接続 ↓ 本コマンドで設定したローカルポートでソケットをオープン ↓ 本コマンドで設定したリモートアドレス、リモートポートで UDP パススルー通信を開始	
Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル		アニモテック株式会社
Product: AMWA-01, AMWS-01		Rev:1.5 26 of 34

AutoUDP モード 起動時 UART 出力	<p>[AutoUDP 開始時] AMW_AT_COMMAND SDK_VERSION:2.10.4 FW_VERSION:1.1.0 AutoUDP start +WEVENT:CONNECT_SUCCESS,ab:cd:ef:01:23:45,AMWx_AP,sae +WEVENT:LINK_UP,192.168.1.153,255.255.255.0,192.168.1.1 +SOPEN:0</p> <p>[AutoUDP を抜ける場合] AMW_AT_COMMAND SDK_VERSION:2.10.4 FW_VERSION:1.1.0 AutoUDP AT* //EXIT コマンド exit</p>
-------------------------------	--

6.9. +SEVENT イベント

Socket コマンド関連イベントを通知します。

ソケット開始	+SEVENT:CONNECT,<socket_ID>	
	発生条件	ソケットが作成される
ソケット終了	+SEVENT:CLOSE,<socket_ID>,<description>	
	発生条件	ソケットが閉じる
送信完了	+SEVENT:SEND_DONE,<socket_ID>,<done>	
	発生条件	データ送信が完了する
送信エラー	+SEVENT:SEND_ERROR,<socket_ID>,<error>	
	発生条件	データ送信が失敗する
パススルーモード待機	+SEVENT:SEND_IDLE,<socket_ID>,<done>,<wait>	
	発生条件	パススルーモードで、送信バッファが空の状態で、5 秒以上送信が行われなかった
パススルーモード終了	+SEVENT:SEND_EXIT,<socket_ID>,<done>	
	発生条件	パススルーモード待機状態で AT*[CR]が入力され、パススルーモードが終了した
受信完了	+SEVENT:RCV_READY,<socket_ID>,<length>	
	発生条件	データ受信が完了した

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル	アニモテック株式会社	
Product: AMWA-01, AMWS-01	Rev:1.5	27 of 34

パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
	done	送信したデータの Byte 数
	description	通知情報
	length	受信したデータの Byte 数
	wait	送信待ちデータの Byte 数
	error	エラーコード
実行例	<ul style="list-style-type: none"> ・ソケット開始 AT+SOPEN=tcp,192.168.1.4,4099 +SOPEN:0 OK +SEVENT:CONNECT,0 ・ソケット終了 AT+SCLOSE +SCLOSE:0 +SEVENT:CLOSE,0,Connection closed by SCLOSE command OK ・送信完了 AT+SSEND=0,5,1 OK // 5byte 送信 +SEVENT:SEND_DONE,0,5 ・パススルーモード待機 AT+SSEND=0,-5,1 OK // IDLE まで待機 +SEVENT:SEND_IDLE,0,0,0 ・パススルーモード終了 AT+SSEND=0,-5,1 OK // IDLE まで待機 +SEVENT:SEND_IDLE,0,0,0 // AT*[CR] 送信 +SEVENT:SEND_EXIT,0,5 ・受信完了 	
Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル		アニモテック株式会社
Product: AMWA-01, AMWS-01		Rev:1.5
		28 of 34

	AT+SRECVMODE=1,1 OK AT+SRECV=0,4 OK // 16byte 受信 +SEVENT:RECV_READY,0,16
--	---

6.10. +RXD イベント

受信したデータを通知します。

受信データ表示	+RXD:<socket_ID>,<length>,<remote_address>,<remote_port>[CR] <raw_bytes>[CR]	
	発生条件	データを受信する (アクティブ受信モード) AT+SRECV コマンドで受信データを表示する (パッシブ受信モード)
パラメータ説明	socket_ID	ソケット ID
	length	受信したデータの Byte 数
	remote_address	受信元の IPv4 アドレス
	remote_port	受信元のポート番号
	raw_bytes	受信した生データ
実行例	// 12byte 受信 +RXD:0,12,192.168.1.123,4100 Hello,world!	

7. エラーコード

コマンドが正常に処理されなかった場合はエラーコードがレスポンスされます。

エラーコード表示	ERROR:<error>	
	発生条件	AT コマンドの操作が正常に終了しなかった場合
パラメータ説明	error	エラーコード

以下にエラーコードの一覧を示します。

エラーコード	エラー内容	備考
1	メモリ不足エラー	Socket コマンドのみ
2	バッファエラー	Socket コマンドのみ
3	タイムアウトエラー	Socket コマンドのみ
4	ルーティングエラー	Socket コマンドのみ
5	別の処理が実行中	Socket コマンドのみ
6	処理中に不正な値が確認された	Socket コマンドのみ

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル		アニモテック株式会社
Product: AMWA-01, AMWS-01		Rev:1.5 29 of 34

7	処理がブロックされた	Socket コマンドのみ
8	指定したアドレス(ポート)が既に使用されている	Socket コマンドのみ
9	指定したリモートに既に接続している	Socket コマンドのみ
10	指定したリモートと既に接続が確立している	Socket コマンドのみ
11	未接続エラー	Socket コマンドのみ
12	低レベルの netif エラー	Socket コマンドのみ
13	接続が中止された	Socket コマンドのみ
14	接続がリセットされた	Socket コマンドのみ
15	接続が閉じられた	Socket コマンドのみ
16	処理中に不正な引数が確認された	Socket コマンドのみ
100	AT コマンド該当なし	
101	AT コマンド引数エラー (AT コマンド仕様と一致しない引数が入力された。)	
102	条件を満たしていないため、AT コマンドを実行できない 例：アクセスポイント未接続でソケットを作成しようとしたとき	
103	AT コマンド処理タイムアウト 例：アクセスポイントへの接続がタイムアウトしたとき	

8. AT コマンド操作ガイド

いくつかの状況を模した AT コマンドの操作例、表示例を示します。

入力文字列は、見やすさのために文頭に>>を付けています(実際に入力する際は不要です)。

注釈コメントは**コメント**で表記します。

8.1. STA モードで起動

```

**デバイス起動**
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
FW_VERSION:1.1.0
>>AT+WMODE=STA
OK
>>AT+WIPADDR=192.168.1.33,255.255.255.0,192.168.1.1
OK
>>AT+WAP=testap,sae,12345678
OK
>>AT+WSAVE
OK
>>ATZ
**デバイス再起動**

```

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル

アニモテック株式会社

Product: AMWA-01, AMWS-01

Rev:1.5

30 of 34

```
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
FW_VERSION:1.1.0
OK
>>AT+WSCAN
+WSCAN:00:60:ad:80:17:6a,921,-44,SAE,mega
+WSCAN:02:60:ad:80:1e:84,923,-51,SAE,testap
OK
>>AT+WCONN=testap,sae,12345678
+WEVENT:CONNECT_SUCCESS,02:60:ad:80:1e:84,testap,sae
+WEVENT:LINK_UP,192.168.1.33,255.255.255.0,192.168.1.1
OK
**AP と接続完了**
```

8.2. AP モードで起動

```
**デバイス起動**
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
FW_VERSION:1.1.0
>>AT+WMODE=AP
OK
>>AT+WAPCFG=testap,sae,12345678,13
OK
>>AT+WAPIP=192.168.1.123,255.255.255.0,192.168.1.1
OK
>>AT+WSAVE
OK
>>ATZ
**デバイス再起動**
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
FW_VERSION:1.1.0
+WEVENT:APSTART_SUCCESS,02:60:ad:80:1e:98,testap,sae
+WEVENT:LINK_UP,192.168.1.123,255.255.255.0,192.168.1.1
**STA から接続される**
+WEVENT:STA_CONNECTED,00:60:ad:80:1e:84
**STA と接続完了**
```

※AP モードの制約事項については、「2. はじめに」を参照してください。

8.3. UDP

```
**STA または AP と接続後**
>>AT+SOPEN=udp,4100,1
+SOPEN:0
OK
>>AT+SRECVMODE=0,1
OK
**相手から「hello world!」を受信**
+RXD:0,12,192.168.1.33,0
hello world!
**「hello world!」を送信**
>>AT+SSEND=0,192.168.1.33,4100,0,1
+SEVENT:SEND_DONE,0,0
OK
>>hello world!
+SEVENT:SEND_DONE,0,12
+SEVENT:SEND_IDLE,0,12,0
>>AT*[CR]
+SEVENT:SEND_EXIT,0,12
```

8.4. TCP サーバー

```
**STA または AP と接続後**
>>AT+SOPEN=tcp,4099,1
+SOPEN:0
OK
>>AT+SRECVMODE=0,1
OK

**クライアントが接続**
+SEVENT:CONNECT,1

**クライアントから「hello world!」を受信**
+RXD:1,12,192.168.1.33,58772
hello world!

**クライアントへ「hello world!」を送信**
>>AT+SSEND=1,0,1
OK
>>hello world!
+SEVENT:SEND_DONE,1,12
```

Title : AMWA-01 AMWS-01 AT コマンドマニュアル

アニモテック株式会社

Product: AMWA-01, AMWS-01

Rev:1.5

32 of 34

```
+SEVENT:SEND_IDLE,1,12,0
>>AT*[CR]
+SEVENT:SEND_EXIT,1,12
```

8.5. TCP クライアント

```
**STA または AP と接続後**
>>AT+SOPEN=tcp,192.168.1.123,4099,1
+SOPEN:0
OK
**サーバーへ接続**
+SEVENT:CONNECT,0

**サーバーへ「hello world!」を送信**
>>AT+SSEND=0,0,1
OK
>>hello world!
+SEVENT:SEND_DONE,0,12
+SEVENT:SEND_IDLE,0,12,0
>>AT*[CR]
+SEVENT:SEND_EXIT,0,12

**サーバーから「hello world!」を受信**
+RXD:0,12,192.168.1.123,58772
hello world!
```

8.6. オート UDP で起動(STA モード)

```
>>AT+WMODE=STA
OK
>>AT+WIPADDR=192.168.1.33,255.255.255.0,192.168.1.1
OK
>>AT+WAP=testap,sae,12345678
OK
>>AT+WSAVE
OK
>>AT+SAUDP=1,4099,192.168.1.123,4099
OK
>>ATZ
**デバイス再起動**
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
```

```
FW_VERSION:1.1.0
AutoUDP
start
+WEVENT:CONNECT_SUCCESS,02:60:ad:80:1e:98,testap,sae
+WEVENT:LINK_UP,192.168.1.33,255.255.255.0,192.168.1.1
+SOPEN:0
**UDP 起動完了**
```

8.7. オート UDP で起動(APモード)

```
>>AT+WMODE=AP
OK
>>AT+WAPCFG=testap,sae,12345678,13
OK
>>AT+WAPIP=192.168.1.123,255.255.255.0,192.168.1.1
OK
>>AT+WSAVE
OK
>>AT+SAUDP=1,4099,192.168.1.33,4099
OK
>>ATZ
**デバイス再起動**
AMW_AT_COMMAND
SDK_VERSION:2.10.4
FW_VERSION:1.1.0
+WEVENT:APSTART_SUCCESS,02:60:ad:80:1e:98,testap,sae
+WEVENT:LINK_UP,192.168.1.123,255.255.255.0,192.168.1.1
AutoUDP
start
+SOPEN:0
+WEVENT:STA_CONNECTED,00:60:ad:80:1e:84
**UDP 起動完了**
```

以上